

地域女性活躍推進交付金事業実施計画書(都道府県分)

都道府県名: 三重県

1. 事業名	みえの女性活躍推進事業				
2. 実施期間	交付決定日 ~ 平成30年3月31日				
3. 事業の趣旨・目的	<p>県内の女性活躍を推進するためには、女性が働き続け活躍するための職場環境づくりが欠かせないのはもちろんのこと、男性の意識改革や女性自らの意識の向上やチャレンジが欠かせないと考えられる。</p> <p>そのため、29年度は、本年度開催したWIT2016にて発出された共同宣言(女性自らのチャレンジ・女性が能力を最大限発揮できる環境づくり・男性が変わる、働き方を変える)を具現化するための取組を進め、地方創生へつなげるとともに、県民一人ひとりが性別に関わらず、男女が共に責任を担い活躍できる男女共同参画社会の実現をめざす。</p>				
4. 事業目標・重要業績評価指標(KPI) (全体)		目標・KPI	目標値(時点)	現状値(時点)	
	①平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じる県民の割合(アウトカム)	49.40% (32年度時点)	39.40% (28年3月時点)	
	②平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の重要業績評価指標(KPI)	女性活躍推進法に規定する事業主行動計画等の策定累計団体数(アウトカム)	/		234団体 (29年1月時点)
	③事業目標(全体)	①女性活躍のロールモデルの創出(アウトプット) ②イクボス同盟(男性リーダーの会 地方版)加入者数(アウトカム)	①10人 (29年度) ②150者	- ()	
	④事業KPI(全体)	女性の活躍推進三重県会議の会員数(アウトプット)	/		288団体 (29年1月時点)
	⑤市町村の取組状況に関する目標	女性活躍推進法に規定する市・町における推進計画の策定率(アウトカム)	市 100% (32年度時点) 町 70%	0% (29年1月時点)	
⑥市町村の取組状況に関するKPI	県・市町の審議会等における女性委員の割合(アウトカム)	/		26.50% (27年度時点)	
5. 事業内容	<p>平成28年5月に開催された伊勢志摩サミットにおいて、「女性の活躍推進はG7の共通のゴール」と首脳宣言がまとめられた。これらの流れを受けて、「リケジョ」や「農業女子」をはじめとするあらゆる分野における女性活躍の可能性を提示し、これからの時代に求められる新しい生き方・働き方を具現化していくための重要なキックオフイベントとして、同年9月に、鈴鹿サーキットにおいて国際フォーラム「WIT2016」を開催したところである。</p> <p>本フォーラムは、基調講演や重要テーマでのセッションの開催のみでなく、アワードを実施し、女性活躍につながる新しい働き方「みえモデル」の創出や女性活躍推進法に基づく協議会のキックオフも兼ねた共同宣言の発出など、今後につながる取組を展開したところである。</p> <p>これらを受け、サミット開催地に相応しい女性活躍の先進県をめざし、WIT2016の開催成果を県内に展開し根づかせていく必要があることから、次の2本の事業を行う。</p> <p>①みえの女性活躍推進事業 ポストサミットの取組として、女性の活躍につながるプロジェクトを発信するアワードを9月に開催するとともに、さまざまな分野の女性人材の掘り起しやスキルアップ等を行い、女性活躍のロールモデル創出に取り組む。なお、実施にあたっては、より幅広い分野における人材の発掘をめざし、アワードに部門を設けるなど本年度の反省をふまえた工夫を行う。</p> <p>②地域女性活躍推進事業 女性活躍推進の機運醸成をより一層図るため、「女性の活躍推進三重県会議」への加入促進に引き続き取り組むとともに、国や大学、地域経済団体等で構成する連絡会議(女性活躍推進法に基づく協議会)や企画委員会を開催する。なお、連絡会議や企画委員会には、本申請事業の企画段階から参画いただき、事業実施後の検証やフィードバックを行っていただくとともに、翌年度以降の事業への反映について協議いただく。</p> <p>あわせて、内閣府「男性リーダーの会」地方版の拡大をめざし、県内企業の99.8%を占める中小企業の経営者や管理者層を対象に、男性の意識改革等につながるフォーラムを開催する。</p> <p>なお、上記2本の事業は、連携、補完しあいながら実施するとともに、県庁内他部局や連絡会議構成団体各々の団体特性に応じた役割を担っていただく事業スキームとなっている。</p>				
6. 事業の実施により期待される効果	<p>女性が活躍するためには、企業や団体のトップや管理者層の多くを占める男性の意識改革をはじめ、女性が活躍できる職場環境づくりや働く女性自身の職業への関わり方に対する意識改革などが必要であり、これらが総合的に進展することで、相乗的にあらゆる分野における女性の活躍・参画が推進される。</p>				